

北アルプス地域 ～「人」と「食」がつながる北アルプス山麓の農業農村～

■達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	(2025(R7)年)		目標 (2027(R9)年)
			計画	実績	
1	中核的経営体数	423 経営体	480 経営体	集計中	500 経営体
	新規就農者数 (49 歳以下)	4 人/年	6 人/年	9 人/年	6 人/年
2	大規模水稲経営体におけるスマート農業技術導入率	38%	48%	63.8%	57%
	機械収穫適性に優れた大豆品種「すずみのり」の栽培面積	5 ha	100ha	108ha	100ha
	信州の環境にやさしい農産物認証制度取得面積・認定件数	156.1ha 44 件	160.0ha 45 件	127.3ha 38 件	170.0ha 49 件
	稼ぐ産地を支える基盤整備 (区画拡大等)の実施面積 (累積)	27.0ha	71ha	69.1ha	82.0ha
3	高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積 (累積)	3.1ha	5.4ha	10.5ha	13.0ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積(多面的機能支払+中山間直払)	4,122ha	4,202ha	4,219ha	4,202ha
	農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数	1 か所	1 か所	2 か所	2 か所
5	北アルプス山麓ブランド認定品目数	123 品	136 品	142 品	140 品
6	学校給食における県産食材の利用割合 (品目ベース)	47%	45%	46.8%	48%
	食農教育、農業・農村体験交流活動の実施回数	33 回	30 回	48 回	35 回

重点取組 1：北アルプス地域の農業を支える担い手の確保・育成

○ 北アルプス地域農業において、将来像が明確化された地域計画の実現に向けた支援

- ・市町村の将来像・課題に沿った現地支援 (4月～3月、計 20 回)



【集落懇談会 (池田町)】

○ 新規就農者の確保・育成と、支え手として多様な人材の確保

- ・新規参入・親元就農者への就農支援 (相談 20 名、東京相談会 2 回 [7/6、11/15])
- ・里親農業者の新規登録支援 (相談 6 名 [水稲 1、果樹 3、野菜 2]、新規登録 6 名)
- ・里親研修生・修了者への技術・経営支援 (研修 3 名、修了 1 名、月 1 巡回、R8 研修開始 2 名確保)
- ・農福連携の周知、福祉事業所 3 か所と農業者 2 名のマッチング支援 (果樹、野菜管理作業)

重点取組 2：新技術の活用、持続可能な生産、稼ぐ産地を支える基盤整備の推進

○ 高密度播種育苗・直播栽培技術など新技術を活用した水稲の低コスト・省力栽培の推進、スマート農業技術の活用による生産の効率化、米の安定生産・品質向上の支援

- ・低コスト・省力稲作新技術の現地実証 (水稲直播実証 3 か所、5～10 月、[大町市、池田町、白馬村])
- ・補助事業を活用した水稲関係のスマート農業機械導入支援 (10 件)



【水稲直播現地実証 (白馬村)】

○ 環境にやさしい農業 (有機農業など) の面的拡大を推進

- ・環境認証制度等の活用促進 (新規及び再認定に向けた個別相談 38 件、認定 127.3ha)

- 中核的経営体の経営安定に向けた基盤整備事業の推進及び導入品目の生産安定等を支援
 - ・担い手の規模拡大を支援する経営体育成基盤整備事業の工事着手（5.5ha）

重点取組3 マーケットニーズの高い園芸作物の産地づくり

- りんご、ぶどう等県オリジナル品種を中心とした新植及び改植、園地更新等の推進及び品質向上に向けた技術支援を実施
 - ・安定生産のための基本技術の励行（講習会3回〔6会場〕）
 - ・新規栽培者向けりんごセミナーの開催（受講者11名、〔講座7回〕）【りんごセミナー（せん定）】
- 水田への収益性の高い新たな品目導入のため、必要な機械等の導入に向けた補助事業等の活用支援
 - ・収益性の高い新規品目における作業効率化に向けた機械の現地実証（ジュース用トマト、アスパラガス：平高うね整形機2件、白ネギ：調整機1件、土揚げ機1件）



重点取組4：暮らしの場としての農村の振興

- 多面的機能を維持するため、地域住民を主体に企業との連携による地域ぐるみの共同活動のほか、住民主体で行う野生鳥獣被害防止対策の取組支援
 - ・個体管理、被害管理、環境管理を総合的に実施する集落の取組支援（研修会1回）（5協議会、侵入防止柵設置（8,540m）等）
- 農村型地域運営組織（農村RMO）の組織化による農村コミュニティの維持
 - ・組織化に関する個別相談対応（大町市、2回）

【獣害被害防止研修会】



重点取組5：北アルプス山麓ブランド等を活用した地域振興

- 気象条件や立地条件など北アルプス山麓の特色を活かし生産された農畜産物や加工品を「北アルプス山麓ブランド」として認定
 - ・新たな地域特産品の北アルプス山麓ブランド品としての認定（新規3品、再認定17品）【認定審査会】
- 北アルプス山麓ブランド認定事業者に対する輸出に向けた支援の実施
 - ・北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会と連携し、台湾向け輸出に係る事業者とバイヤー間の調整を実施（4回〔6/17、9/18、10/14、10/31〕）
- 観光業者と連携した販売促進の実施
 - ・台湾への輸出、販売定着に向け物産展を開催（10/31～11/2、台中市「裕毛屋」）
 - ・インバウンド等に対応するため、国内での販売促進・PRのために物産展を開催（5/5 松本駅前、7/19 銀座 NAGANO）



【認定審査会】



【物産展〔台湾〕】



【物産展〔松本〕】 【物産展〔銀座〕】

重点取組6：多彩な農村資源を活用した食の地消地産と食育の推進

- 学校給食等給食事業者が求める農畜産物の生産組織の育成と供給体制の整備
 - ・学校給食等での活用に向けた情報交換会の開催支援（2回〔6/5、6/12〕）
- 農村生活マイスター等を核とし、栄養教諭等と連携した児童・生徒への食育活動による次世代への食文化の継承
 - ・北アルプスおむすびプロジェクトと連携し、基幹品目の米消費拡大イベント実施（おむすびづくり体験3回〔57名〕）（7/18 銀座 NAGANO、2/9 松川村）【おむすびづくり体験】
 - ・農村生活マイスターを核とした食育活動支援（体験・交流活動支援48回）
- 観光と連携した学習旅行等の受け入れ、収穫体験等の充実
 - ・国内外からの学習旅行の受入れや都市部からの誘客を促進し、地域内農産物の消費拡大等を図るため、旅行事業者向け誘客プロモーションの実施（7月 東京、11月 台湾）



【おむすびづくり体験】